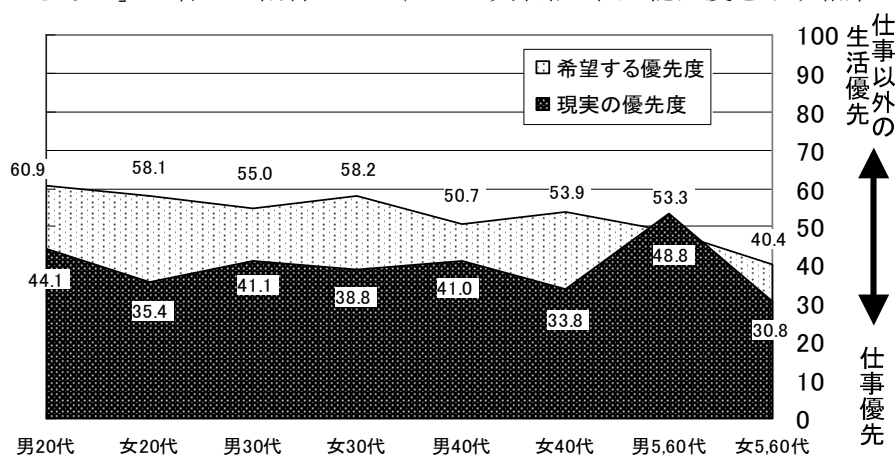


## 【10月から2月までの経過報告】

「ワーク・ライフ・バランス」の学習会を開催するにあたり、組合員の現状を把握するために事前アンケートを実施しました。51.6%というかなりの過半数をクリアした回収率からもある程度予想できましたが、『ワーク・ライフ・バランス』という言葉を知っていますか」との設問に対して、「よく知っている」または「少し知っている」と答えた割合が18%、「聞いたことはある」または「知らない」と答えた割合が82%という非常に低い認知度を示す結果でした。



左図は、仕事と仕事以外の生活のバランスについて尋ねた設問の回答です。全体の平均では希望する優先度が53.3に対し、現実の優先度が38.0という結果でした。

また、年次有給休暇の平均取得が9.4日という少ない結果も出ました。

これらを資料に学習会を開催したところ、参加者数は46人と少なかったのですが、反響は大きかったようで、事後アンケートでは「学習会はためになりましたか」の設問に対し、「大いになった」または「少しなった」と回答した人がなんと98%でした。下に自由記述の一部を紹介します。

各職場によって休暇や時間外勤務などの差はありますが、各職場で精一杯の努力や、仕事の仕方、内容などの考え方を話し合っていく必要があります。現実には難しいことも多々ある中、いろんなことに取り組んでいけるようにしたいと思います。

一緒に協力してくれたりする人がいたり、制度が整って、その制度が使いやすい環境になったら、みんなが生活しやすくなるんじゃないかな、とあらためて感じた。やっぱり人生、生活しやすく、楽しくすごせるのが一番かなと思った。

育児休暇など長期休暇をとることを、お話を聞くまで職場に迷惑をかけることばかり、マイナス面ばかりだと思っていましたが、プラスのことが多いというお話も聞いて安心しました。

休暇制度などをもっと知るように勉強することも大事。

地域や社会(友だちに…)啓発していきたいと思った。

仕事と育児の両立を支援する取り組みが企業や職場などに与えるプラス面をもっとみんなが知り、ワーク・ライフ・バランスの取り組みが充実していきたい。

一人のライフ・ワークバランスを実現させるには組織的に課題に取り組まないと。

今年は有給を10日以上取得します。

改善したい気持ちはあるが、どこをどう改善したら良いかわからない。今は難しいかもしれないが、そういう動きがあることは大切だと思うので続けて声はあげていくべきだと感じました。ありがとうございました。

自分で変えていこうとしなければ、はじまらないですね。皆が(組合員どうしが)お互いに思いやって、休みやすかったり、協力し合えたりする職場にしたいと思います。

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度が18%だった甲賀市職員組合なのに、たった一度の学習会でこんな意見が出るようになるのかと驚きました。

今後は、事前・事後アンケートの結果を参考に、わたし達の組合の身の丈にあった「ワーク・ライフ・バランス」の提言書を3月中に当局あて提出できるよう、引き続き取り組んでいきます。